



平成27年度森林総合監理士育成事業 (実践研修)

1. 研修日程： 平成27年10月20（火）～21（水）
2. 研修会場： ホテルサン人吉（熊本県人吉市）
3. 現地実習： 人吉市矢岳町（民有林）
4. 参加者： 31名
 県職員25名 国有林職員6名

(協力事業体：株式会社 泉林業)

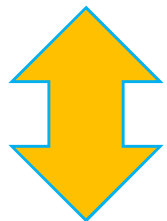


研修目標

急傾斜地や岩石地、作業箇所奥地化が進んだ箇所においては、車両系集材システムのみでは路網の開設費や集材コストが掛かり増しになるなど、架線集材を組み合わせた新たな作業システム等の導入が課題となっている。

このため、架線集材、特にタワーヤーダを適用した作業システムと路網配置について現地検討、意見交換を行い技術的な課題や改善策を提供共有し、各地での事業の導入・具体化に向けた指導・助言ができる能力の育成。

1日目



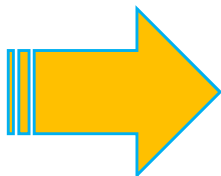
- ◆ 開校式
- ◆ 刈インターン
- ◆ 研修の趣旨説明
- ◆ 各地域での情報共有

開校式の様子



急傾斜地や岩石地、作業箇所の奥地化が進んだ箇所においては、架線集材を組合せた新たな作業システム等の導入が課題。
 このため、架線集材、特にタワーヤードを適用した作業システムと路網配置について現地検討、意見交換を行い技術的な課題や改善策を検討しました。

現地検討



外部講師：岡 勝 教授
 (鹿児島大学) による説明
 及び現地検討の様子！



事業地概要

場 所：人吉市矢岳（民有林）
 事 業 体：（株）泉林業

スギ・ヒノキ人工林
 主伐（皆伐）6.77ha
 生産量1,600m³

実際に操作しました！



実際に操作しました！



2日目

岡 勝 教授による「タワーヤードによる生産システム」の講義

- 架線系高性能林業機械を用いた作業システム
- 作業ポイント（土場）・路網
- 路網配置の特徴を示す4つの要素
- 現地検討箇所を振り返って



班内における
グループ検討・発表取
りまとめの様子
(KJ法)

①作業システム②路網配置③更新の考え方④その他（生産ロット・作業性・安全性等）について検討




発表の様子
(KP法)

各班ともに、事
業実行による課題
等を検討し、作業
システムの効率化
や改善策等を発表



岡 勝 教授より講評
(鹿児島大学)



A group of approximately 30 people, including men and women in professional attire, are posed for a group photo in a room with large windows and a patterned carpet. They are holding a white banner with Japanese text. A speaker is visible on the left side of the frame.

平成27年度 実践研修
＜九州ブロック＞

研修お疲れ様でした！